

当社のDXへの取り組み

デジタルと匠の技の融合による、次世代の建設業へ

代表メッセージ

【目指す姿：デジタルと匠の技の融合による、次世代の建設業へ】

私たちは、長年培ってきた「現場の技術力」と最新の「デジタル技術」を融合させ、安全で高品質な社会インフラを持続的に提供できる企業を目指します。

建設業界が直面する労働力不足や長時間労働といった課題に対し、私たちはデジタル変革（DX）を通じて

「誰もが働きやすく、誇りを持てる建設現場」を実現し、地域社会への貢献と企業価値の向上を同時に達成する新たなビジネスモデルへと進化します。

【ビジネスモデルの変革】

これまでの「労働集約型」の業務プロセスから、データとデジタルツールを活用した「知識集約型・高生産性」の業務プロセスへと転換し、顧客への迅速な対応と品質向上を実現します。

坂口建設株式会社 代表取締役 松岡 重孝



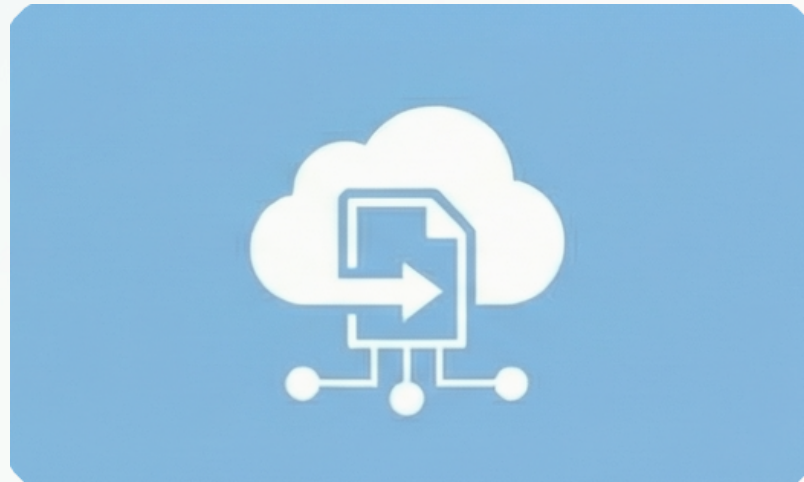
DX戦略

当社は、以下の3つの柱でDXを推進し、事業変革を実現します。



(1) 現場業務の更なる効率化（現場DX）

アナログな連絡調整や移動時間を削減し、本来注力すべき「施工管理・品質管理」に集中できる環境を作ります。



(2) バックオフィスのスマート化（業務DX）

紙書類の撤廃とクラウド連携により、場所を選ばない働き方を可能にし、業務スピードを劇的に向上させます。



(3) データに基づく安全と品質の追求（データ活用）

現場の稼働状況や安全管理データを可視化し、経験則だけに頼らない科学的な現場運営を行います。

ITシステム・具体的な取組内容

上記の戦略を実現するため、以下の環境構築に取り組んでいきます。

(1) 施工管理のフルクラウド化による現場業務の高度化



現場情報の リアルタイム一元管理

図面、工程表、現場写真などの施工データをクラウド上で一元管理し、関係者全員が最新情報を常に共有できる環境を構築し、「言った言わない」のトラブルを防止するとともに、現場への直行直帰を推奨し、移動時間の大幅な削減を実現していきます。



コミュニケーションの デジタルシフト

従来の電話やFAXによるアナログな連絡手段を、ビジネスチャットや専用アプリへと刷新し、施工指示や確認事項を迅速かつ正確に伝達することで、待機時間を削減し、現場監督と職人が本来の技術業務に集中できる時間を創出していきます。



施工調整と安全管理の スマート化

作業間の調整会議や、資機材搬入のスケジュール管理をデジタルプラットフォーム上で実施することで、手戻りや工程の輻輳（ふくそう）を未然に防いでいきます。また、入退場管理や安全書類もシステム化し、事務作業の負担軽減とコンプライアンスの徹底を両立していきます。

ITシステム・具体的な取組内容

上記の戦略を実現するため、以下の環境構築に取り組んでいきます。

(2) バックオフィスのペーパーレス化とコンプライアンス強化



勤怠・労務管理のクラウド化

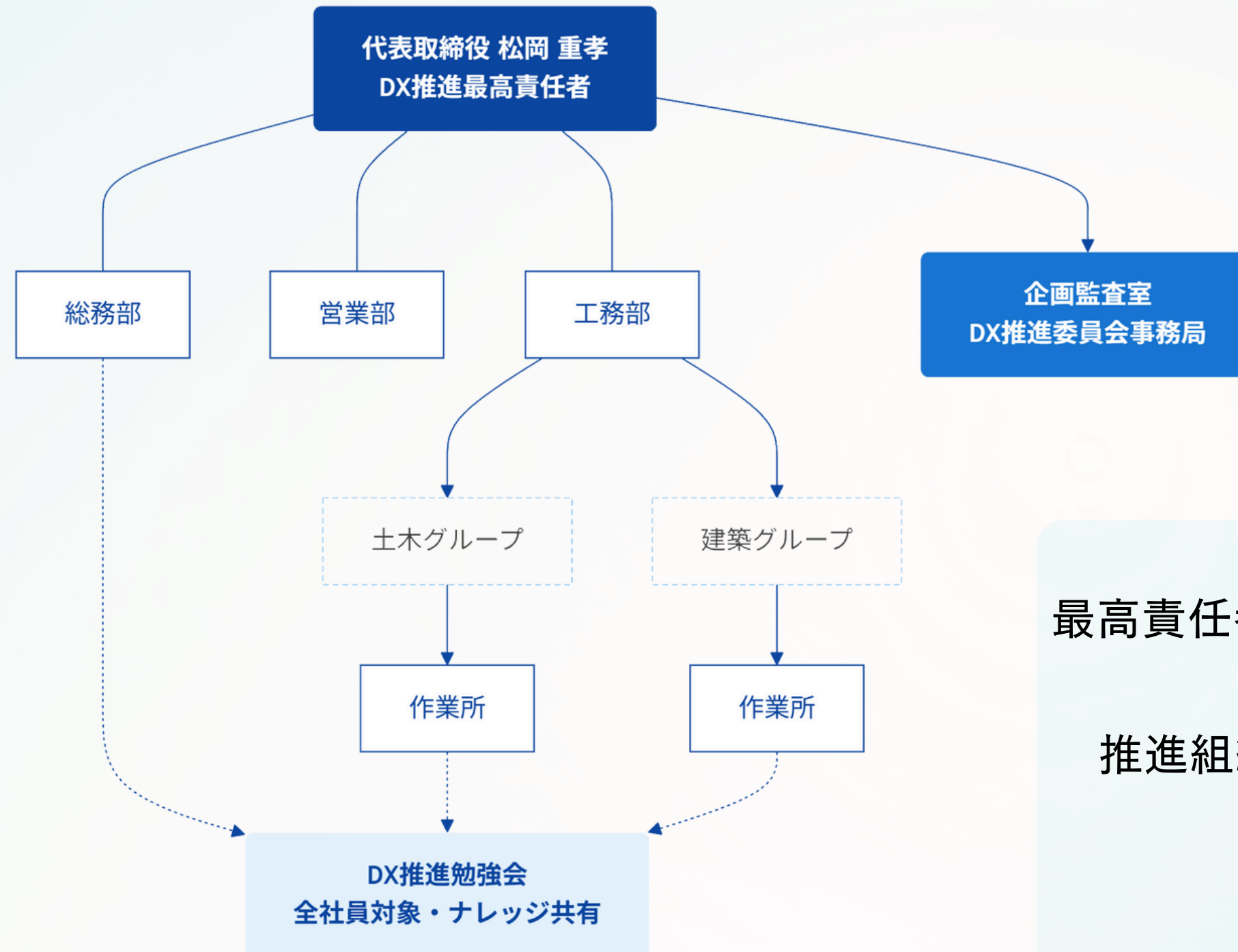
出退勤打刻をモバイル端末で行い、リアルタイムな労働時間管理により長時間労働を抑制していきます。



安全運転管理のデジタル化

アルコールチェック記録等の安全運転管理データをクラウド保存し、ペーパーレスかつ確実な法令順守体制を構築していきます。

DXを推進する体制



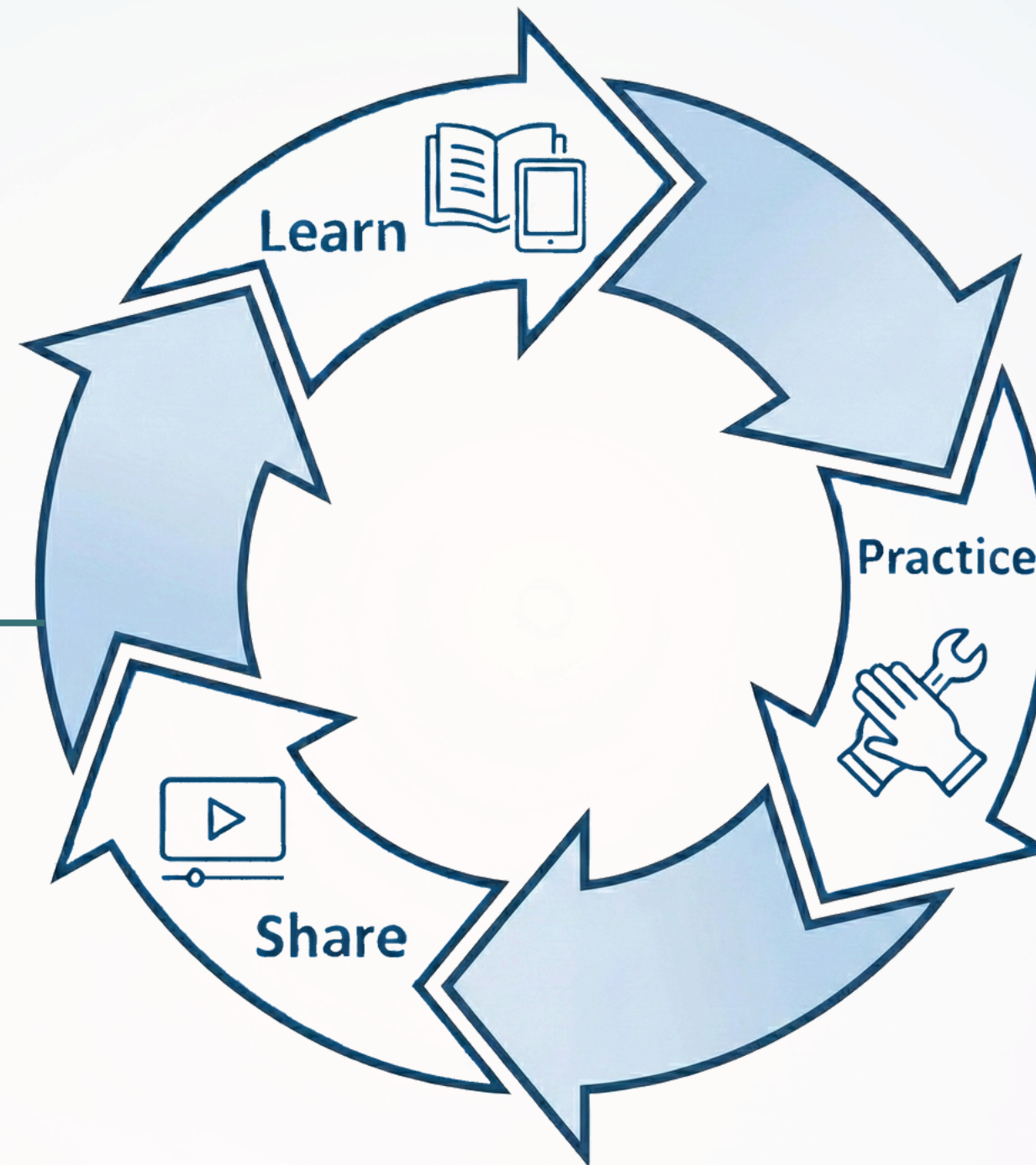
最高責任者：代表取締役
(DX推進の最終意思決定とコミットメント)

推進組織：「DX推進委員会」を設置。
現場の所長クラスと管理部門が連携し、
現場の実情に即したツール選定と定着
支援を行います。

【人材育成方策】

デジタルリテラシー教育

全社員を対象に、定期的なセキュリティ教育およびITツール活用研修を実施し、組織全体のデジタル対応力を底上げします。



動画マニュアルによるナレッジ共有

社内独自の教育動画プラットフォームを活用し、ツールの操作方法だけでなく、若手社員への技術継承（安全管理・施工ノウハウ）を効率的に実施しています。

成果と重要な指標（KPI）

DX推進の進捗を測るため、以下の指標を設定しモニタリングを行います。

- 1 現場生産性の向上：現場監督1人あたりの担当工数または完工高の向上
- 2 ペーパーレス化率：契約書、請求書、日報等の電子化比率 80%以上
- 3 DX教育受講率：社内ツール教育・セキュリティ教育の受講率 100%

現場生産性の向上



ペーパーレス化率

80%以上



DX教育受講率

100%

